

## 南京市の様子

西三数学サークルのみなさんこんにちは。そして初めまして。桜丘高校（豊橋にある私学）に勤務しています原田和広です。中国の南京にある姉妹校・南京師範大学附属中学（112年の歴史ある伝統校で、南京で知らない人がいないくらい有名な国立の高校です）に、何と日本語の教員として派遣されています。しかも二回目の派遣です。私にとっても人生に二回の赴任があるとは思ってもみませんでした。

1回目の南京は、1990年4月～1993年の3月までの3年間でした。バブル景気漂う日本を後にして、前年に起きた天安門事件の余韻が残る南京に赴任しました。

この時は自転車全盛の頃で、道を横切るにも切れ間がなく、どうやって横切ってよいやらと悩んだものです。また、頻繁に停電があり、夜の授業（先生方に日本語を教えていました）で何の予告もなく停電になったり、乗っていたエレベーターが途中でいきなり止まったりしました。ごはんの中にも細かい石が入っていていきなりガチッと噛み、「今日はついてない」なんて思ったものです。

そして20数年ぶりに南京へ。正確に言うと2012年の3月30日に南京に戻ってきました。話には聞いていましたがあまりの変わりようにびっくりです。あの川のように切れ間のなかった自転車の洪水の代わりに自家用車だらけになっていました。このためいたるところで大渋滞です。我先に行こうとしてドライバーは、クラクションを鳴らしまくっています。でも、わりと信号を守っています。罰金が怖いからかも知れません。

自転車に代わり登場したのが「電気自転車」です。車道ばかりか歩道も平気でバンバン走って来ます。何せ「自転車」扱いですから、赤信号だろうが何だろうが交差点を突っ切ってきます。免許も不要ですので、高校生くらいからお年寄りまで平気で乗っていて、速いものになると60km/hから70km/hでかつ飛ばして行きます。音もしませんからムチャクチャ怖いです。実際に事故にあっている姿を何度も見ました。安心して歩けたものではありません。この「電気自転車」が大きなスーパーで売られているのにもビックリです。



けれども市内の移動は以前に比べてとても楽になりました。地下鉄は2号線まであり、バスもチャージ型のカードで乗ることができます。特に大きく変

変わったのは、今年の夏からです。と言うのも夏にユースオリンピックが南京で行われたからです。オリンピックにあわせてさまざまな整備が行われました。地下鉄も延長の形でしたが新たに2路線が作られました。特に空港から市内までが結ばれたのは、とても大きなことでした。タクシーもこれまでバラバラだった色がすべて黄色に統一されて、すっきりしました。人の行動もどことなく都会的(?)になった気がします。



市内の交通が便利になったのに反して商店で売られている商品の品質はまだまだという感じ。すぐ近くの上海や蘇州には、日本のコンビニやデパート・スーパーがあるというのに、こちらにはありません。物の購買という点に関しては少々不満が残りますが昔ながらの市場なども残っており、変わらぬ情緒を感じることもできます。ここは、上海のような大都市とは違い、古い物と現代の物がほどよくミックスされた街だと感じています。

南京の街の様子については以上のような感じです。次回は学校についてお知らせしたいと思います。